

今こそ特別活動の充実を！

～希望あふれる学校再開に向けて～

令和2年5月 埼玉県特別活動研究会

リーフレットの活用にあたって

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国に緊急事態宣言が発令されました。これを受け、各小中学校は臨時休業となり、子供たちを取り巻く環境は大きな変化を余儀なくされました。今までは当たり前だった学校生活。友達と遊んだり、学習したり、学校行事などの目標に向かって力を合わせたり…改めて学校生活での一つ一つの学びがかけがえのないものであることを、子供たちもみなさんも感じているのではないのでしょうか。

そして、先日緊急事態宣言の期間延長が発表となりました。「人と関わること＝危ない」という状況がもたらす子供たちへの精神的な影響は計り知れません。大人以上に不安で寂しく、我慢を強いられている子供たちにこそ、今後の学校生活に向けた希望がもて、人と人とのよりよい関わりによって得られる成長を保証してあげることが、我々教師に求められているのではないのでしょうか？そこで、本会では、臨時休業中や学校再開後に活用できる取組についてまとめたリーフレットを作成しました。これらの取組は、子供たちの自主的・実践的な活動であり、学級経営の要となる特別活動の理念を基盤としています。教師と子供たちが一丸となって、この危機的状況を乗り越えるために、このリーフレットをご活用いただければ幸いです。

1. 学校再開に向けてつながりや希望を生む活動例

教師と子供たちのつながり

臨時休業が続き、教師と子供たちの人間関係を築く時間がありません。しかし、学校再開後、円滑に学校教育を推進していくためには、教師と子供たちの人間関係が重要です。そこで、以下の活動のように、教師と子供のつながりを保つような休業中の取組を考えていくことが大切ではないのでしょうか。

- ①学校からの課題として、右のようなワークシートを配付します。
- ②登校日等に提出してもらい、コメントを入れて子供に返却をします。

このような活動をとおして教師と子供たちのつながりも芽生えていきます。学校が再開したら、このワークシートをもとに改めて学級全体で自己紹介をするといった活動も考えられます。

よろしくね！カード

みんなのことを知りたい。先生のことも知りたい。そのような思いで作った先生とあなたとの交換カードです。他の人には見せないので、安心して書いてくださいね。
(みんなにしょうかいしたいことがあったら、前もって確認します。)

	自分のこと	先生のこと
名前		埼玉 太郎
好きな食べ物		小松菜
好きな教科		全教科
得意なこと 「これだけは私に聞いて」 っていうことでもいいよ		名前を覚えること
好きなこと はまっていること		マスクを作ること
学校が始まったら やりたいこと (いくつ書いてもいいよ)		みんなで遊ぶ！ みんなで勉強する！
クラスみんなへの メッセージ		早くみんなで活動 できる日が来るの を願っています！

先生へのメッセージ（質問、今考えていること、悩みなど 何でもいいよ！）

先生からのメッセージ

子供たち同士のつながり

文部科学省から、分散登校といった3密を避けた学校再開についても示唆されました。これにより学級や学年全員が揃うことが難しい場合も考えられるので、子供たち同士をつなぐ以下のような活動も必要ではないでしょうか。

- ①学級や学年などでホワイトボードや模造紙等を準備します。
- ②登校してきた子供たちから他の子供たちに向けたメッセージを貼り、交流します。

このように学級や学年の友達、または他の学年に向けたメッセージを掲示し、交流することで、励まし合って苦難を乗り越えようとする雰囲気醸成にもつながると思われます。また、教師からのメッセージを貼っておくと、子供たちの笑顔が増えるきっかけになるかもしれません。

またみんなでいっしょに校庭であそぼう！

〇〇より

〇〇さんも、わたしと同じ気持ちだ。また学校でたくさん遊びたいな！



学校生活への希望や目標

学校が再開したら「何をやりたいか」「どのようなことを頑張りたいか」といった希望や目標を、子供たちが休業中に考えておくという活動も考えられます。

- ①学年だよりなどをとおして、希望や目標を子供たちに考えてもらいます。
- ②付箋等を書いてもらい、集約します。
- ③分類・整理をして、どのような思いを抱いているのかを教師と子供で共有します。

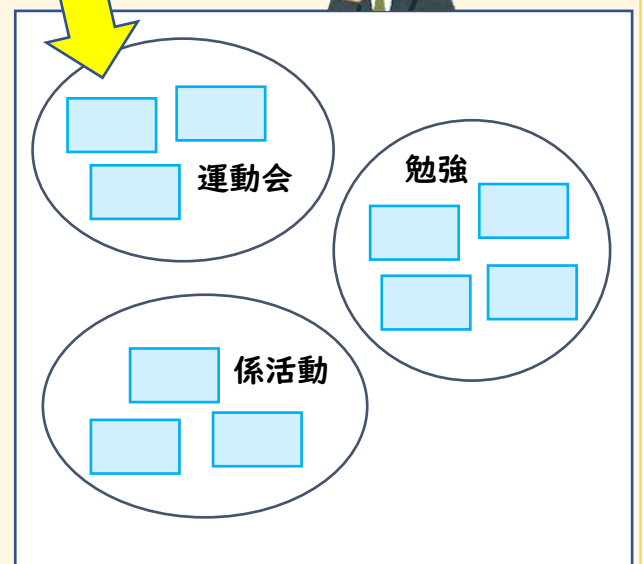
このような活動をとおして、休業中の子供たちの不安を軽減し、気持ちを明るくすることにつながると考えられます。また、子供たちの希望や目標を分類・整理することによって、今後の学級経営に生かすこともできます。短い1年間だからこそ、学級活動(1)などを活用し、子供たちが創意工夫しながら学校生活を創ることで、充実した学校生活になるのではないのでしょうか。

友達と協力して運動会をやりたい

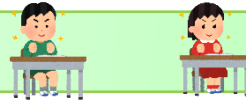
〇〇 〇〇

どうにか実現できないかな？クラス運動会なら実現できそうだな！

教師



2. 学校再開後の学級でできる活動



学級活動の充実 今こそ、話し合っって課題を解決していく活動が重要です！

休業期間中、他者との関わりが制限されていた子供たちにとって、学校再開後に新たな人間関係を築くのは容易なことではありません。他者と協働し、集団や自己の課題を解決していく学級活動の充実が、人間関係を形成する上で、必要不可欠と言えるでしょう。

学級活動(1)は、限られた条件や環境で行うことが想定される中で、工夫をして取り組むことが大切です。具体的な工夫として以下のものが考えられます。

- 「学校再開後にやりたいこと」をもとにして議題を選定する。
- 話し合い活動の前に意見を集約しておく。(学級会ノート、計画委員会の活用)
- (1年生の入門期の学級会のように)話し合い後、即実践できるものからスタートする。(みんなと活動するよさが実感できたり、活動時間の確保につながったりするでしょう)

※教師同士や子供たちとさまざまな「工夫」について考えるチャンスと捉えましょう。

学級活動(2)(3)において、自分で目標を決めて実践することもより重要となるでしょう。次のような工夫、題材例、実践例が考えられます。

【休業期間中に取り組めること】

- ・アンケートを実施する。(実態把握)
- ・子供たちが自己紹介カードを書く。(課題として)

【題材例】

「規則正しい生活」「正しい手の洗い方」
 「家庭学習の行い方」「(学校)図書館の利用」 など
【学校再開後の実践例】「〇年生になって」

- ・自己紹介カードを活用し、学級目標を設定する。
- ・自分の目標(1学期)を意思決定し、実践につなげる。

6年生 自己紹介カード
 学年 名前 性別

授業では、この思いをもとに、より具体的な目標を意思決定できるようにしましょう。

「教師の思い」
 三者の思いをあわせて学級目標を設定しましょう。

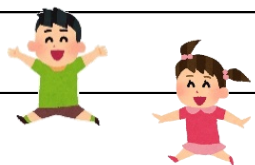
自己紹介カードの例

3 密に配慮したアイスブレイクの活動例

ソーシャルディスタンスを確保し、換気を十分に行った上で、活動しましょう。ルールを工夫や盛り上げ方も大切です。

直接的なふれあいはできませんが、アイスブレイクをとおして「心のふれあい」をすることで、子供たちの心のケアと豊かな人間関係を築く素地を養うことにつながるでしょう。

アイスブレイク名	行い方
ジャンケン	・後出しジャンケン・・・「勝つ」「あいこ」「負ける」などさまざまなバリエーションがある。リーダーを子供がやるのも可能。 ・方向ジャンケン・・・ジャンケンに勝ったら90度向きを変え、4回勝って正面に戻ったら、座ることができる。
落～ちた落ちた	「落～ちた落ちた」「な～にが落ちた」のかけ声に合わせて、ポーズをとるゲーム。 「リンゴ」・・・両手でリンゴをキャッチするポーズ 「天井」・・・天井を持ち上げるポーズ 「カミナリ」・・・おへそを隠すポーズ
ふやしりとり	2文字の言葉から始めて、次は3文字というようにしりとりする文字をだんだん増やしていく。8文字くらいになったら、次はだんだん減らしていく。
サイレントジェスチャーゲーム	声を出さずジェスチャーだけでお題のものを伝えるゲーム。 リレー形式にすることもできる。
「〇〇」と言えば	「〇〇」と言えばというお題を出し、連想するものを答えるゲーム。 声に出して行う方法や、紙に書いて行う方法がある。



3. 学校再開後の学校行事等について

学校行事は児童・生徒の学校生活に彩りを与え、主体的な活動の経験が、学級づくりや学習意欲の向上につながります。所属感や連帯感を高め、社会性の育成にも資する学校行事のねらいを再確認するよい機会と捉え、今年度の計画を検討していくことが大切です。

活動実施における視点

- ①感染拡大防止（3密を防ぐ）
- ②学校行事等のねらいを達成するための、効果的な指導方法の工夫改善（授業時数の確保）

⇒行事等の内容の精選、規模縮小、実施時期の見直し等による実施

学校行事等の活動例

（感染防止に配慮した実施）

- 「始業式」「終業式」「離任式」等
⇒校内放送や紙面での実施
⇒校庭での児童・生徒同士の間隔を保った実施

（分割での実施）

- 「音楽会」「クラブ発表会」「学芸会」等
⇒学年ごとに日を分けての実施（朝の集会の時間での実施）
⇒動画撮影を行い、校内放送もしくは学級ごとの視聴

（開催時期や場所の見直し）

- 「遠足」「林間学校」「修学旅行」等
⇒2学期後半や3学期の実施
⇒施設の変更（屋外もしくは収容数に余裕のある施設に）

（内容の変更や他教科等と関連付けた実施）

- 「運動会」「校内美化活動」等
⇒学級や学年での実施
⇒授業時数確保のため、「家庭科」「生活科」「総合的な学習の時間」などの教科等と関連付けた実施

児童会・生徒会活動においても同様の視点で実施の可否を検討するとよいでしょう。

「1年生を迎える会」
「委員会活動」など

Point

活動の変更や中止の際には、活動のねらいについて考え、全職員で共通理解をもって臨みましょう。
工夫して実施する場合も、実施することのみを目的とせず、振り返りなど一連の学習過程を意識して取り組めるようにしましょう。

各種資料のダウンロードは「埼玉県特別活動研究会 HP」から

休業中の時間を活用して、学級会グッズを充実させてみませんか？一歩踏み出すためには環境整備から。本会 HP では、学級会の黒板掲示やノートのテンプレート、計画委員会資料などの他、このリーフレットで紹介したワークシート等がダウンロードできますので、ぜひ御活用ください。

埼玉県特別活動研究会

検索

<http://saitokkatsu.sub.jp>

